

北海道爬虫両棲類研究会第6回大会

北海道爬虫両棲類研究会では下記の予定で、一般聴講も可能な基調講演と研究発表会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。午前の講演では北海道爬虫両棲類研究会会長・徳田龍弘が「北海道爬虫類両棲類分布一斉調査・ハーブソン Hokkaido2015-2017 結果報告」を、そして埼玉県の川の博物館の藤田様より「埼玉県でもハーブソン？博物館企画の県民調査で調べた爬虫類」をお話して頂きます。

場所

札幌市円山動物園 動物園プラザ (札幌市中央区宮ヶ丘3番地1)

1月27日(土) 開場:9:30 開演:10:00~15:10

10:00~10:10 開会のあいさつ

10:10~10:55 北海道爬虫両棲類研究会会長・徳田龍弘

「北海道爬虫類両棲類分布一斉調査・ハーブソン Hokkaido2015-2017 結果報告」

10:55~11:35 埼玉県立川の博物館・藤田宏之氏

「埼玉県でもハーブソン？ 博物館企画の県民調査で調べた爬虫類」

11:45~12:00 ハーブソン 2017 表彰式

12:00~13:00 休憩

(12:05~12:25 北海道爬虫両棲類研究会総会：会員のみ)

13:00~15:00 研究発表6題 (裏面：発表番号①~⑥参照)

15:00~15:10 閉会のあいさつ

(15:10~16:00 は虫類・両生類館において観覧：会員と発表者のみ)

料金

聴講無料ですが、動物園入園料を各自ご負担お願い致します。(駐車場：動物園の駐車場 700円/日)

懇親会(17:30~ 予算・ドリンク2杯と料理で3,500円程度を予定)

会場：エル・シッド(北海道札幌市中央区南5条西24丁目3-16) 011-551-2232

事前に参加の連絡をしていない場合、昼前までに受付に参加希望の旨をご連絡下さい。

【講師紹介】

徳田龍弘氏(とくだ たつひろ) 1975年札幌市生まれ。北海道爬虫両棲類研究会・会長、フォトグラファー。ヘビを中心に爬虫類、両生類、野生動物の写真を撮影する。野外での動物の行動を調べるのがライフワーク。北海道エコ・動物自然専門学校にて両生類爬虫類学を担当。日本爬虫両棲類学会会員、獣医師。2011年に北海道爬虫類・両生類ハンディ図鑑を発行(2015年に改訂)。2013年に共著で Old World Ratsnakes を出版。北海道レッドリスト、札幌市レッドリスト作成に携わる。

藤田宏之氏(ふじたひろゆき) 1969年江別市生まれ。埼玉県立川の博物館学芸員(両生類・爬虫類・水生生物担当)。民間企業勤務後、博物館に転職し現在学芸員10年目。神戸市で市民活動による水生生物の生態調査に関わったのをきっかけに、両生類の生態・保全、外来種問題、ヒトと動物の関係を専門に活動している。2013年に分担執筆で『新ポケット版学研の図鑑 爬虫類・両生類』に関わる。埼玉県レッドデータブック検討委員、埼玉県絶滅危惧動物種調査団員を委嘱。

研究発表題（当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり）発表 12 分, 質疑応答 3 分

- ①エゾアカガエルの繁殖時期と繁殖行動 / 発表者：竹中踐（東海大・生）
- ②アライグマ(?)によるヒキガエル捕食の多発生 / 発表者：八谷和彦（北海道爬虫両棲類研究会）
- ③骨の年輪（成長停止線）によるヒキガエルの年齢調査 / 発表者：八谷和彦（北海道爬虫両棲類研究会）
- ④北海道南部七飯町周辺に見られるアヅマヒキガエルの出没範囲と産卵池の分布
発表者：斎藤和範（道教大旭川）
- ⑤札幌の住宅隣接孤立林にある池に長期にわたって集まるエゾサンショウウオ繁殖個体の特徴づけ
発表者：杉目良平（酪農大・発）
- ⑥カジカガエルにおける鳴き声の構造と機能（予報） / 発表者：木村青史（秋田水保）

問い合わせ先

〒005-0021 北海道札幌市南区真駒内本町 7-4-27 北海道爬虫両生類研究会事務局 徳田宛
syomu@koke-koke.com

なお,大会当日に受付で配布するプログラムには,要旨集も添付されます.